

《征稿》为日中友好铺路架桥

由于对中国的战争不仅给中国人造成了深重的灾难和严重的心灵伤害,对众多的日本人又何尝不是呢?那罪恶的战争,使我母亲留在了中国。作为“小日本”的我,希望日中两国世代友好下去,是我从儿时的梦想。为了替战争赎罪,给中国人留下日本人的好印象,我以“我活着是为了使别人生活得更美好”奋斗了四十六年。作为教师的我,辛勤耕耘了二十五年,真可谓“桃李满天下”。虽然深受学生、家长及周围人的爱戴,但“小日本”始终是一种威压,使我没有理直气壮的感觉。

平成五年,我家三口人来到了日本。作为“中国人”的我,感受到了日本是一个环境优美,生活安定的礼仪之邦。我更愿为日中友好铺路架桥,不愿意听人说中国人不好。所以当年就参加了市里的国际交流活动,第三年开始就在公民馆等处办气功班、中国语班、料理班等,并且经常到市里中小学给孩子们介绍中国的情况,教他们简单的中国语会话。从 2002 年起在市役所开办的国际交流联谊所工作,并担任友好城市嘉兴市(中国浙江省)研修生的翻译和生活指导,成了她们的“日本妈妈”。由此,不但加强了与日本人及其他外国人的交流,也增加了许多朋友,提高了自己的日语水平。

虽然有时也为既不是“日本人”也不是“中国人”烦恼,但每天过得很充实愉快。女儿也名门大学毕业(庆应大学),能回到日本,我感

《投稿》日中友好の架け橋に

中国との戦争は、中国人に大きな災難と心の傷をもたらしただけでなく、多くの日本人にも同様の不幸をもたらしたのではないだろうか。あの罪深い戦争は、私の母を中国に置き去りにしました。「小日本」と言われて中国で育った私としては、日中両国の友好が幾世代も続くことが、子供の頃からの夢です。戦争の罪滅ぼしのためにも、中国人が日本人に対して良い印象を持つように、私は「他人の生活をより良いものにするために生きよう」と 46 年間奮闘してきました。教師として私は、25 年間懸命に勤め、今では中国中至る所に教え子があります。学生や父兄、周囲の尊敬を受けても、「小日本」が一種のプレッシャーになって、自分に自信が持てませんでした。

平成 5 年、我が家は家族 3 人で日本に帰国しました。「中国人」としての私が受けた日本の印象とは、環境が良く、生活が安定し、礼儀正しい国でした。私は更に日中友好の架け橋になることを願い、中国人が悪く言われぬように願いました。そして、その年には、市の国際交流活動にも参加しました。3 年目からは、公民館等で気功教室、中国語教室、料理教室等を開いたり、市の小中学校で子どもたちに中国事情を紹介したりしました。また、その中で中国語の簡単な会話を教えました。2002 年から市役所に開設された国際交流ラウンジでの仕事が始まり、友好都市「嘉兴市」(中国浙江省)の研修生の通訳と生活指導を担当し、彼女たちの「日本のお母さん」になりました。こうした中で、日本人やほかの

到很幸福，我爱中国也爱日本。

我虽然六十一岁了，仍在工作；因日语还不好，仍在学习。“生命不息，奋斗不止”，让我们用奋斗来创造归国者的新明天吧。

(木戸口 春子)

外国人との交流が深まっただけでなく、多くの友人が増えて、日本語のレベルも上がりました。

「日本人」でも「中国人」でもないことに悩んだ時もありましたが、毎日充実して楽しく過ごすことができました。娘も名門大学（慶応大学）を卒業することができ、日本に帰れたことを幸せに感じるまでになりました。今、私は中国も愛し、日本も愛しています。

私は 61 歳ですが、まだ仕事をし、日本語が不得手なので、その学習もしています。「命がある限り、奮闘は止めない」、私たちが奮闘することで、すべての帰国者の方々に新しい明日が来ることを願います。

(木戸口 春子)